

## 特別調査「平成25年の経営見通し」

問1. 貴社では、平成25年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

(複数回答) (単位: 件・%)

	1.非常に良い	2.良い	3.やや良い	4.普通	5.やや悪い	6.悪い	7.非常に悪い
合計(構成比)	0.0	0.6	2.9	12.6	32.2	39.6	12.1
合計件数	0	1	5	22	56	69	21
製造	0	0	1	6	14	16	2
建設	0	1	3	7	8	20	4
卸売	0	0	0	0	2	4	1
小売	0	0	1	5	20	17	11
サービス	0	0	0	4	12	12	3

\*平成25年の日本の景気見通しについては、「良い」(「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計)と回答する割合が3.5%、「悪い」(「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計)が83.9%となった。「良い-悪い」は△80.4%と1年前の調査(△88.2%)と比べて7.8ポイント上昇してはいるが、依然として景気の見通しは厳しい水準にある。

問2. 貴社では、平成25年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

(単位: 件・%)

	1.非常に良い	2.良い	3.やや良い	4.普通	5.やや悪い	6.悪い	7.非常に悪い
合計(構成比)	0.0	1.1	4.0	25.3	39.7	22.4	7.5
合計件数	0	2	7	44	69	39	13
製造	0	1	3	14	14	5	2
建設	0	1	0	12	16	12	2
卸売	0	0	0	1	3	2	1
小売	0	0	4	10	21	13	6
サービス	0	0	0	7	15	7	2

\*平成25年の自社の業況見通しについては、「良い」(「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計)と回答する割合が5.1%、「悪い」(「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計)が69.6%となった。「良い-悪い」は△64.5%と、1年前の調査(△74.2%)に比べて9.7ポイント上昇し幾分厳しさは和らぎつつあるが、景気の見通しと同様に、依然として厳しい水準にある。

問3. 平成25年において貴社の売上額の伸び率は、平成24年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。つぎの中から1つ選んでお答えください。

(単位：件・%)

	1.30%以上の増加	2.20~29%の増加	3.10~19%の増加	4.10%未満の増加	5.変わらない	6.10%未満の減少	7.10~19%の減少	8.20~29%の減少	9.30%以上の減少
合計(構成比)	0.6	1.1	2.9	13.2	34.5	27.0	12.6	5.2	2.9
合計件数	1	2	5	23	60	47	22	9	5
製造	0	0	3	5	16	10	3	2	0
建設	1	2	0	5	17	12	1	2	3
卸売	0	0	0	0	1	5	1	0	0
小売	0	0	2	8	14	13	12	4	1
サービス	0	0	0	5	12	7	5	1	1

\*平成25年の自社の売上額見通し(伸び率)を「増加-減少」で見ると、△29.9%と前年の調査(△48.2%)に比べ18.3ポイント上昇している。一方、変わらないとするものは34.5%で8.7ポイント増加した。このようななかで、建設業に「20%以上あるいは30%以上の増加」を見通す企業が3社見られた。

問4. 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

(単位：件・%)

	1.すでに上向いている	2.6か月以内	3.1年後	4.2年後	5.3年後	6.3年超	7.業況改善の見通しは立たない
合計(構成比)	3.4	5.7	11.5	9.8	8.6	11.5	49.4
合計件数	6	10	20	17	15	20	86
製造	3	2	6	8	2	4	14
建設	1	3	5	1	7	7	19
卸売	0	0	1	0	1	0	5
小売	1	5	4	5	1	7	31
サービス	1	0	4	3	4	2	17

\*自社の業況が上向き転換点については、「すでに上向いている」とする回答割合は前年と同値の3.4%、「6か月以内」や「1年後」とする比較的前向きな回答割合は17.2%で前年とくらべ4.9ポイント上昇した。一方で、「改善の見通しは立たない」とする回答割合は、ほぼ半数の49.4%となった。多くの企業が自社の業況が上向き時期については厳しい見方をしている。このようななかで「すでに上向いている」とする企業が製造業で3社、建設、小売、サービスで各々1社見られた。

問5. 貴社では、平成25年以降を見通した場合、どのような経済的ないし社会的事象が経営に影響を及ぼすと考えますか。次の1~0の中から最大3つまでお答えください。

(複数回答) (単位: 件・%)

	1. 国内政局の混迷	2. 消費税率の引上げ	3. 海外経済の減速	4. アジア諸国との関係悪化	5. 円高の長期継続	6. 原材料価格・資源価格の高騰	7. 電力供給不安の長期化	8. 企業の海外移転による国内産業空洞化	9. 廃業・倒産の増加	0. その他
合計(構成比)	43.1	73.0	5.2	5.2	11.5	51.1	17.8	1.7	28.7	1.7
合計件数	75	127	9	9	20	89	31	3	50	3
製造	16	28	1	2	3	25	5	0	10	1
建設	22	25	1	2	6	22	8	2	13	0
卸売	3	6	0	1	1	2	1	0	2	0
小売	21	45	5	2	8	25	14	0	12	2
サービス	13	23	2	2	2	15	3	1	13	0

\*経営に影響を及ぼす経済的・社会的事象としては、「消費税率の引上げ」(73.0%)が最も高い回答割合となり、「原材料価格・資源価格の高騰」(51.1%)、「国内政局の混迷」(43.1%)が続いた。

### ～調査員のコメントから～

- 海水温や天候等により水揚げは大きく変化する。今年の水揚げは少なかった。(製造業)
- 秋サケ水揚げ減少、魚体も小さく売上は前年比減少している。(製造業)
- サキイカ、珍味は本州中部、関西方面での販売が順調に推移している。(製造業)
- 住宅新築の依頼は無く、厳しい。(建設業)
- 従業員へ資格の取得を促し、技術力向上へ取り組んでいる。(建設業)
- 配電線工事等の稼働は順調、売上増加している。(建設業)
- 小売業者への納入額が減少している。(卸売業)
- 従業員の教育訓練を強化、育成を図っている。(卸売業)
- 残暑から一転、気温の低下により冬物衣料に動きがあった。(小売業)
- クチコミで、一流メーカー製造の高級馬服が売れている。(小売業)
- 地震などで停電になった時の備えにポータブルストーブが売れている。(小売業)
- 宿泊数は減少している。常連客が主で新規のお客は減少している。(サービス業)